

子どもの「みとり」から学ぶ校内授業研修

先週は連日の出張で「校長室から」を更新することができませんでした。10月下旬には、2年生と5年生が校内授業研修（算数）を行いました。2年生は、かけ算です。

「どんなかけ算の式になるか考えよう」

おかしのはこが3はこあります。1つのはこに5こはっています。おかしはぜんぶで何こになりますか。



この時間の学習では、式が 3×5 なのか 5×3 になるのかを子どもたちが理解することが主なねらいとなります。どちらの式でも答えは15になるのですが、式がどちらになるかはかけ算の意味理解には重要なこととなります。授業の中で先生は、それぞれグループの考えを説明させる際に、どう



してそう考えたのか根拠を示させて説明させていました。図と言葉と式を連動して考えさせる中で、正しい式は 5×3 だと子どもたちの言葉をつないで気づかせていました。



5年生は平均の学習です。

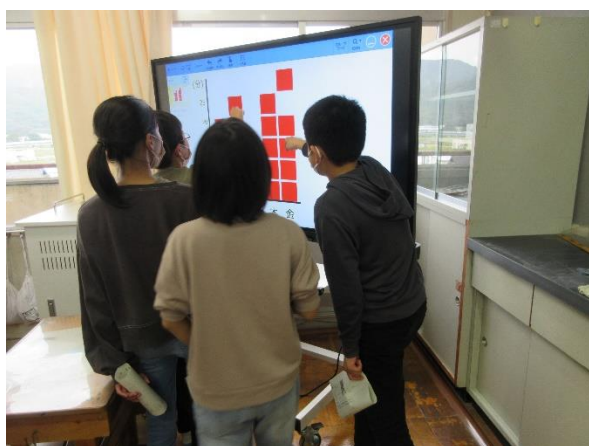
「0があるときの平均について考えよう」

月曜日から金曜日までのメディア時間を調べました。

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|----|----|---|----|----|
| 時間(分) | 15 | 25 | 0 | 30 | 30 |

1日平均何分メディアを使ったことになりますか。

$$(15 + 25 + 30 + 30) \div 4 = 25 \quad (15 + 25 + 0 + 30 + 30) \div 5 = 20$$



平均は全体÷個数で求められることを学んだ子どもたちは、水曜日が0分の場合、個数に0を含めて平均を求めるべきなのかを考えました。その際も、友だちの考えと自分の考えを比較し説明する力や具体物と式をつなげて考える力など、学習内容は違えど、これまでに培ってきた力を活用し、問題の解決を図り、0を含めて計算することに気づいていました。

また、授業を参観する際に、先生方はみとる児童を一人決めて、授業参観に臨んでいます。その子の席の近くで、どんな発言やつぶやきをしたか、またノートにどんなことを書いているか、先生や友達の発言にうなずくなどのアクションを見逃さず、その子が子の学習をどこで理解できたかやどんなことを考えながら授業に臨んでいたかを事後研修で交流することにしていきます。授業を



提供する授業者にとっても、自分が気付かなかった子どもの反応を聞いて新たな学びを獲得する場になっています。

参観いただいた指導主事の方からも、こうした子どものみとりから自身も多くのことを学んできたことを伝えていただき、次回の研

修での先生方のみとり交流が一層楽しみになりました。